

令和七年度 垣生中俳句会 第九回西垣生分館俳句大会入賞作品

(※西垣生分館俳句大会にて選句、講評をいただきました。)

金賞

うきわだけプールに浮かび遊んでる

一年

- ・放課後の誰もいない学校の静けさ、寂しさがうまく表現されていると思います。
- ・浮き輪で泳ぐつもりが、友達と一緒に水遊びに夢中になり、浮き輪のことなどすっかり忘れていたのかな。次には、相棒（浮き輪）と一緒に泳いでください。
- ・「うきわ」だけぽつんと浮かんでいる景で持ち主の想像まで広がっていくと思います。



銀賞

重なって傘ひらく音梅雨来たる

二年

- ・梅雨時の下校時の状況をよく捉えています。
- ・何人かが一斉に傘を開く瞬間を「音」で上手に表現できている句です。
- ・一斉に開く傘の音が梅雨を知らせている様子が伝わります。



銀賞

夏痩せでいつもと違うベルト穴

三年

- ・ベルトの穴の違いで夏痩せを感じた所が詩的で良かったです。
- ・ベルトの穴で体調を知り、夏を乗り切るぞという指標が伝わります。
- ・毎日の暑さで食欲不振の結果、体調のバロメーターは、体重計ではなくベルトを締める穴だったという視点が良かったです。



銅賞

炎昼やスマホの画面ゆがむ顔

三年

- ・心頭を滅却すれどこの暑さ、今日も暑い！
- ・無意識にスマホの画面を見た時、どんな変顔が一瞬映っていたのか、想像すると楽しくなる句です。

銅賞

そうめんや一本釣りする平家谷

二年

- ・平家谷のそうめん流しを家族で楽しむ雰囲気をよく捉えています。
- ・流しそうめんが一本ひよろひよろと流れてきた侘びしさを感じます。
- ・「一本釣り」でわくわく感や動きが感じられます。

銅賞

春の朝思わず祈るクラス決め

一年

- ・仲の良い友達と同じクラスになるだろうか、クラス担任はだれだろうか。期待と不安が入り交じった気持ちがよくわかります。
- ・新学期のクラス分けは、生徒にとっては一大事です。

佳作

祖父の家ボタンを押せばああ涼し
汗光る特大ジャンプで点決める
天の川見えるかなあ嘆く夜
梅雨明けやぬるくなりゆく天然水
ソーダ水部活終わりに一気飲み
朝の床夢の名残の夏布団
スイカ割り物々交換地元愛
登校路陽射しの剣と影の盾
風鈴の音鳴り響く垣生の町
譜面追う友の向こうに夏の空

一年
一年
一年
二年
二年
二年
二年
二年
三年
三年
三年



入選

一人部屋一面の百合夢に見る
名月や父のからあげ世界一
父の日や感謝の気持ち忘れない
父の日のでっかい卵焼いてみた
ひんやりとラムネのビー玉響く夜
魔法瓶揺れて音なり入道雲
風鈴やまだかまだかと待つ土産
下校中沈まぬ太陽負ける蟬
初ラムネ張りきりすぎてグラス割り

一年
一年
一年
二年
二年
二年
三年
三年
三年

